

若 樹

杉並区立東田中学校

チーム東田中

校長 坂本 聖二

5月11日（木）、12日（金）に群馬県みなかみ町で1年生のフレンドシップスクールを実施しました。2日間とも天候に恵まれたことで行程もスムーズに進み、全員元気で終了することができ、生徒たちにとって良い思い出になったと思います。

1日目の午後にはチームビルディングを実施しました。昨年度も一昨年度もチームビルディングを行っていますが、今回は専門の業者の方々に指導をしていただきました。5、6人のグループで協力しながら12のミッションをクリアしたり、クラス全員で複雑に絡み合った状態で手をつなぎ、手を離さずに絡み合った状態をほどこいていく人間知恵の輪などを行いました。どの課題に対しても全員が真剣に取り組んでおり、指導に当たられた方から「今まで多くの学校の指導を経験してきましたが、こんなに真剣に取り組んでくれる学校はあまりありません。素晴らしい生徒さんたちで、今日は指導をしていてとても楽しかったです。」とお褒めの言葉をいただきました。今回の経験を日常の学校生活でも活かしてくれることを期待しています。

さて、この「チームビルディング」ですが、私は今回初めて「チームビルディングとチームワークの違いは何か？」ということに興味をもち調べてみました。ものによって多少の表現の違いがありましたが、共通点をまとめると以下のような内容でした。

チームビルディング	大きな集団において目標や理想を達成するため、個々の能力や個性を最大限発揮できる環境作りや取組
チームワーク	小集団において互いの弱点を補いながら、効率的・効果的に課題解決に取り組むこと

このことからチームビルディングとは「課題に取り組むときに、高度なチームワークを発揮して大きな成果を生み出すことのできる集団を作ること」だと考えました。

学校においては、【個人<生活班<学級<学年<学校】と個人が小集団を形成し、その小集団がさらに大きな集団を形成しています。校外学習や修学旅行での班行動、授業や学級活動における話し合い活動などではチームワークが重要になってきます。このような場面で高度なチームワークを発揮するためには、日頃から学級や学年での環境作りや取組が大切になってきます。その意味では、運動会や合唱コンクールなどの行事における学級や学年での取組は、チームビルディングの一つだといえます。

個々の能力や個性を最大限発揮できるチームとは、一人ひとりがチームの中での自分の役割を理解し、互いに尊重し、認め合えるようなチームだと思います。生徒、教職員、保護者、地域の方々すべてが「チーム東田中」の一員です。東田中学校がさらにビルドアップし、笑顔あふれる素晴らしい学校になるために、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

フレンドシップスクールに行ってきました

1年生は5月11日(木)、12日(金)、群馬県みなかみ町に行ってきました。「チームビルディング」や「サンドブラスト体験」などの経験を通じて、友人関係を深めて来ました。



チームビルディングとは、各メンバーのスキルや経験を最大限に発揮し、目標を達成できるチームを作り上げていく取り組みを指します。「仲間の個性や能力に気がつき、尊重できる人」そんな生徒が増え、3年後には最高の「チーム東田中」が作り上げられていくことを期待しています。

第76回 運動会 スローガン「翔・笑・勝」 ～称賛～

友達が頑張り成功した時、それを嫉む人と称える人がいます。友人の頑張り、そして、自分の頑張りも称えられる心が広々として豊かな人に育ってほしいと思います。運動会当日だけでなく、本番・練習を通じて貴重な体験ができました。



準備や片付けを通じて、陰で働く人がいて様々な舞台が成り立っていることを学ぶことも大切な学習です。実行委員の生徒や係生徒もよく頑張ってくれました。